

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	三遠南信の歴史と美食、安らぎ、パワースポット体験列車
事業主体 (連絡先)	JR 飯田線活性化期成同盟会
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,025,863 円 (うち支援金: 577,000 円)

事業内容

【JR 飯田線を活用したツアーによる利用促進】

地域住民や沿線市町村が連携してイベント列車を運行し、観光の観点から『列車の旅の楽しみ』について魅力発信することで飯田線の利用促進につなげることを目的とし、事業を行う。

○実施日 平成29年12月2日(土)

○参加者 飯田下伊那地域から60名

飯田駅及び天竜峡駅から乗車し、列車内では沿線地域の特産品(地酒や和菓子)を振舞ったり、歴史や観光地についての紹介など車内イベントを行う。下車後は鳳来山東照宮の見学や、ボランティアガイドに長篠城址を案内いただくなど、沿線の歴史をめぐり、湯谷温泉にて温泉入浴をし、飯田線で帰路につく。



【長篠城址の説明を受ける】

【目標・ねらい】

- ①飯田線の利用促進
- ②飯田線の新たな利用者層の獲得

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

参加者にアンケート調査を行ったところ、日常生活では全く飯田線に乗車を利用しない方がほとんどであった。

①今回のツアーで乗車した感想としては、車窓の景色や車の移動では味わえない列車の旅の魅力、マイカーではあまり行かないところへ行くことができたなど、好意的な感想が多かったことから、飯田線を利用するきっかけ作りとなり、利用促進へつなげることができたと考える。

②普段はマイカーで移動する30代から60代の方にも参加していただいたことで、新たな利用者層に飯田線の魅力を発信することができた。

※自己評価【B】

【理由】アンケートの結果から、概ね講評を得たが、ツアーの内容に見直したほうが良い点があったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

飯田線の利用促進に加え、さらに地域に資する効果をあげられるよう、ツアーの内容を改善していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある